

培養基板への接着様式の観察 (接着斑の観察)

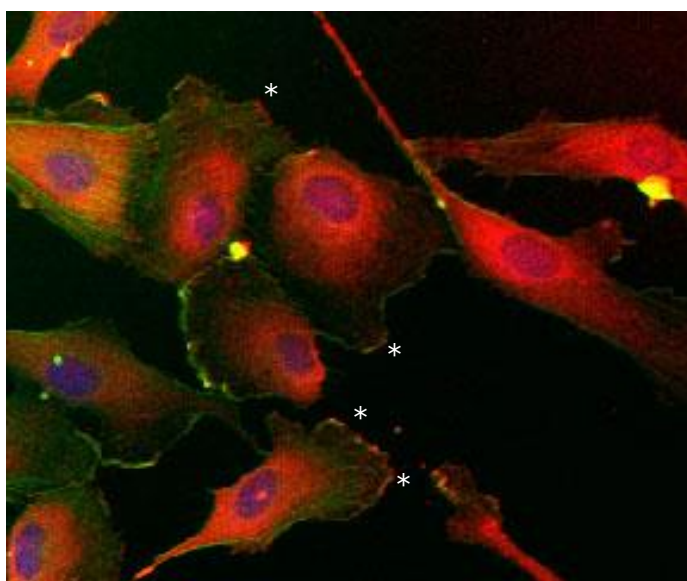


SUSCARE

1. 測定条件

フィブロネクチン塗布培養基板上にヒト臍帯静脈内皮細胞(HUVEC)を 1×10^4 個/cm²の密度となるように播種し、24時間培養した。培養後、細胞核、F-アクチンおよびピンキュリン(接着斑の指標)の蛍光免疫染色を行い、共焦点レーザー蛍光顕微鏡で観察した。

2. 測定結果



青：細胞核
緑：F-アクチン
赤：ピンキュリン
*：接着斑
対物レンズ：62倍

3. 測定結果から得られる情報

F-アクチンがよく発達し、細胞が伸展している様子が観察される。また細胞辺縁部に点状に分布するピンキュリン(接着斑)が観察されることから、培養基板に細胞が強固に接着していることが示唆された。

4. 試験料

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。